

2005年 英国議会下院・統一地方選挙

(財) 自治体国際化協会 CLAIR REPORT NUMBER 269 (Sep 7, 2005)

財団法人自治体国際化協会
(ロンドン事務所)

目 次

はじめに

概要	i
第1章 英国議会下院選挙	1
第1節 選挙制度概要	1
第2節 選挙前の状況	1
1 過去の推移	1
2 選挙日程	3
3 総選挙の地方自治体への影響	3
4 選挙前の争点	4
5 主要3党(労働・保守・自由民主)の動き	4
6 主要3党のマニフェスト	6
7 選挙運動中に話題となった事項	8
8 職員による政治集会等レポート	8
第3節 選挙結果	9
1 選挙結果総括	9
2 結果分析・今後の動向	10
第2章 2005年統一地方選挙	13
第1節 選挙制度概要	13
第2節 選挙前の状況	14
1 2004年統一地方選挙結果	14
2 今回の対象地域	15
第3節 選挙結果	15
1 カウンティ	15
2 ユニタリー	15
3 市長選挙	15
4 増減状況等	16
資料編	19
【資料1】 主要3党マニフェスト比較一覧	19
【資料2】 2005年英国下院総選挙各政党議席分布	25
【資料3】 英国総選挙風景	26
【資料4】 参考文献等	33

はじめに

英国では、2005年5月5日に英国議会下院選挙と統一地方選挙が行われた。今回の選挙は、下院議員の任期は5年で現議員の任期は2006年までであったが、ブレア首相が1年前倒しして下院選挙を実施した。その結果、34カウンティ（県に相当）と3ユニタリー（県、市の機能を持った自治体）、4自治体の市長選挙との同時実施となり、下院選挙実施の正式宣言前の3月から英国内は選挙ムードに包まれた。

4～5年に1回実施される国政選挙を直接体験できることは、自治体職員にとっても重要で貴重な経験であることから、職員全員で現地取材等を行った。

選挙結果は、下院議員選挙では、労働党が前回よりも議席数を減らしながらも党史上初となる連続3期政権を獲得した。また、34カウンティの議員選挙では、国政選挙とは反対に約3分の2の23カウンティで保守党が政権を獲得し、国とは逆に地方では保守党が優勢な結果となった。

今回のレポートでは、単なる選挙結果の分析等のほかに選挙期間中のできごとや現場レポートなどできるだけ臨場感が伝わるような内容を心がけ、巻末には主要政党のマニフェストを資料として添付した。なお、別に発行される「英国の地方選挙風景と地方版マニフェストの実情」も、本書とともに一読していただくと選挙制度全般から最新の動向までを一層理解していただけるものと思う。

本レポートが、英国の選挙制度や政治的な現況を理解する上で、日本の地方自治体関係者にとって一助となることを願っている。

（財）自治体国際化協会 ロンドン事務所長

2005年英国議会下院総選挙及び統一地方選挙概要

1 英国議会下院総選挙の概要

2001年以來4年ぶりとなる今回の選挙は、低失業率や堅調な個人消費など英国経済が好調な中、労働党ブレア首相が5年の任期を1年前倒す形で下院を解散、5月5日に総選挙を行うと4月5日に発表することで実質的に始まった。

4月11日の女王による議会解散宣言から6労働日後の4月19日に立候補者が締め切れ、小選挙区定数646に、労働党627名、保守党630名、自由民主党626名、その他の政党・無所属1,669名の3,552名が届け出た。

選挙戦を通しての主要新聞の各種世論調査の政党別支持率では、多少の増減はあったものの概ね与党の労働党が30%後半、最大野党の保守党が30%前半、第2党の自由民主党が20%前半で推移していた。

選挙結果は、労働党が党史上初となる3期連続政権を獲得することとなったが、前回より47議席減の356議席、保守党は前回より33議席増の197議席、自由民主党は前回より11議席増の62議席、その他が3議席増の30議席となった。(立候補者死亡により1選挙区延期されたため総議席数は645)

主要3党の得票率は、労働党が5.5ポイント減の35.2%、保守党が0.6ポイント増の32.3%、自由民主党が3.8ポイント増の22.1%と選挙前の各党支持率予測とほぼ同様の結果となった。

2 統一地方選挙(34カウンティ、3ユニタリー、4自治体の市長選挙)の概要

イングランドの34カウンティと3ユニタリーの全議員、4地区の市長選が5月5日の英国下院議会総選挙と同日実施された。カウンティ選挙では、労働党議員の減少に伴い保守党支配が6増加し、34カウンティのうち23が保守党支配自治体となり、ユニタリー選挙では、1自治体が労働党支配から支配政党なしとなった。首長制度発足に伴い実施された2002年選挙後初となる市長再選挙は、労働党の2候補が新市長になり、4地区のうち3地区が労働党市長(1地区は無所属)となった。

本レポートでは、全体を2章に分けて、第1章では、英国議会下院総選挙について、第2章では、統一地方選挙—34カウンティ(県に相当)、3ユニタリー(県、市の機能を持った自治体)、4自治体の市長選挙の結果について、それぞれ制度概要、選挙前の状況、結果概要を紹介している。

最後に、参考資料として、主要3党のマニフェスト比較表、下院総選挙各政党議席分布、職員の選挙風景レポートを掲載した。